

特別連載

Vol.26

山田久志投手使用グラブ

1973年、パ・リーグは2シーズン制を導入しました(82年まで)。シーズンを前期・後期に分け、それぞれの優勝チーム(勝率1位)による年度優勝決定試合(3戦先勝制のプレーオフ)を実施し、シーズン優勝チームを決定しました。2位以下については前後期通算130試合の勝率順となっています。

写真は、阪急ブレーブスのエースとしてこの時代に大活躍した、山田久志投手のグラブです。独特なアンダースローからの力のあるストレートとシンカーを駆使し、最多勝を3回(72、76、79年)、最優秀防御率を2回(71、77年)受賞。76～78年にはプロ野球史上初めて3年連続MVP受賞の快挙を達成しました(その後イチロー選手も94～96年に受賞)。通算284勝は歴代7位の大記録で、2006年に野球殿堂入りされました。

山田投手に代表される個性的な名選手の活躍もあり、プレーオフを導入した73年、パ・リーグは初めて観客動員400万人を突破、79年には500万人を突破し、徐々に人気が高まっています。また、74年には金田正一監督率いるロッテ・オリオンズが10シーズンぶりにパ・リーグに日本シリーズの覇権を奪還、翌75年には上田利治監督

のもと、山田投手の活躍もあり阪急ブレーブスが球団創設以来初の日本一、そして同年から3連覇を達成するなど、巨人V9後のプロ野球をパ・リーグが盛り上げました。

